

年頭あいさつ

市民、事業者、行政がまちの未来を「展望」し、まちの「発展」に向けた取り組みを的確に「展開」

あけましておめでとーいございます

令和7年の輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。市政の舵取りを担わせていただき、本年3年目を迎えますが、引き続き、9万8千市民の皆さまに、安全安心な暮らしと、活気あふれるまちを実感していただけるよう、本年も現場重視の姿勢で、責務を果たしてまいります。

昨年を振り返りますと、元旦に発生した能登地方における大規模地震は、災害、減災に向けた取り組みの充実の必要性を強く感じた出来事でした。2つの駐屯地と1つの基地が所在する本市は、自衛隊とともに発展するまちづくりを進めてきており、空港を抱える市として、非常に心強く感じているところであり、引き続き各部隊との連携強化を図ってまいります。

また、4月には、市内で3校目となる全日制高等学校、「日本航空高等学校北海道」が開校しました。空港におけるグランドハンドリングや保安検査が人手不足に直面している中であって、多くの航空事業に関わる人材が育成されることを期待しております。

同じく4月に、道央廃棄物処理組合の

昨年12月には、本市に半導体製造拠点を建設中のラピダス株式会社が、EUV露光装置を搬入し、次世代半導体の生産に向けた大きな一歩を踏み出しました。そして、本年4月には、次世代のロジック半導体の試作ラインが稼働する予定です。ラピダス社を中心とした半導体産業の拠点が実現することにより、本市に大きな波及効果をもたらすとともに、北海道全体の産業や経済の発展につながっていくものと考えております。

本市といたしましても、現在策定中の「将来ビジョン」をもとに、まちのさらなる発展に向けた取り組みを進めてまいります。

また、これらにより、多様な企業が集積する新たな拠点の形成が急務となっており、半導体関連産業を中心とした多様な産業の集積拠点として、新たな工業団地の造成に向け、準備を進めてまいります。

市民生活の安全安心と活力あるまちづくりに向けた取り組みにつきましては、まず、こども子育ての支援として、「千歳市こども計画」の策定を進めているところであり、令和8年度からの本格実施を見据えた、「こども誰でも通園制度の先行実施」や「保育定員の拡大」など、まちの将来を担うこどもたちや子育て家庭への施策を展開してまいります。

このほか、「千歳市コミュニケーション

焼却処理施設が供用開始され、千歳市・北広島市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町の2市4町が連携してごみ処理に取り組むことで、より効率的かつ安定的な処理による環境負荷の低減が図られました。

6月には、本市の特産品である「支笏湖チップ」が、地域の長年の努力により、「地域団体商標登録」されました。支笏湖チップの令和6年の釣果も、この登録をお祝いするかのようには、調査開始後、最高となる20万尾を超え、豊漁の年となりました。

10月には、新千歳空港の国内線乗降客数が過去最高を記録するなど、航空需要は着実に回復の一途をたどっており、市内観光地やまちの賑わいにつながっているところと見られます。

11月には、向陽台地域と千歳駅間での自動運転バスと、向陽台地域内でのAIオンデマンド交通の実証実験を行い、運転手不足等の課題解決に向けた地域公共交通の新しい展開について第一歩を進めるなど、さまざまな分野で新たな動きがあった一年でした。

本年につきましても、市民の皆さまが

ン並びに情報の取得及び利用のための多様な手段の利用促進に関する条例」をつくり、障がいのある方などが円滑なコミュニケーションを図ること、必要な情報を得たり利用したりする機会を十分確保し、市民が相互に人格と個性を尊重し合い、安心して共に生きることができる地域社会の実現を目指してまいります。

また、空港開港100年に向けて、「(空港開港100年に向けた)実行委員会」を中心として、節目となる令和8年が次の世代につながる、記憶に残る年となるよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。

「史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンター」につきましては、本年4月下旬のオープンに向けて準備を進めており、多くの方々に来訪いただき、史跡キウス周堤墓群の価値や魅力を伝え、理解を深めていただきたいと思います。

このほか、高い農業生産額を誇る農業生産地帯や、280社を超える企業立地がある工業団地、また、四季折々の景観が魅力的な国立公園支笏湖など、本市の特性である農業・工業・観光などの地域資源を生かした地域経済の活性化に取り組むとともに、さまざまな課題に対し皆さまと連携して、時々に変化する社会情勢に柔軟かつ的確に対応しながら、安全安心に、活力あるまちづくりを目指してまいります。

令和7（2025）年の一年一字「展」

【テン・のべる・ひろげる・つらねる】

「市民、事業者、行政が同じ未来を《展望》し、必要に応じた施策を的確に《展開》する」という思いを込めています。



安全安心、快適に暮らせるよう、各分野の課題解決に向け、果敢に挑戦してまいります。

まず、その1つとして、「次世代半導体の国産化を目指した国家プロジェクト」への取り組みであります。

新たな一年へ向け、本年も、私の想いを漢字でお示したいと思えます。

今年の一字は「展」(てん)としました。まちの未来を「展望」し、まちの「発展」に向けた取り組みを的確に「展開」する。そして、第7期総合計画に掲げる人口10万人、「ten(テン)」万人の達成に向け、市民の皆さまとともに、まちの課題に取り組んでまいりたい、このような想いで選びました。

昨年の漢字は、「動(どう うごく)」でありましたが、本年は、この動きをさらに展開し、まちの課題に果敢に挑戦してまいります。

令和7年は、世界から千歳が注目される年になります。

さまざまな期待をまちの活力に変え、さらなる発展を目指すとともに、市民の皆さまにとって「住んでよかった」「住み続けたい」と感じていただけるまちづくりを進めていく所存です。

本年もどうか、まちづくりへのご支援をお願い申し上げますとともに、皆さまにとりまして、幸多い素晴らしい一年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。